

「教育課程の編成及び実施に関する方針」（カリキュラム・ポリシー）について

（応用情報工学科）

応用情報工学科では、「卒業の認定に関する方針」（ディプロマ・ポリシー）に掲げる資質・能力の修得のため、以下のとおり教養教育関係の授業科目及び専門教育関係の授業科目を科目間の内容の関連性や学修内容の順次性を踏まえて体系的に編成し、授業科目に適切な方法（講義，演習，実験，実習，実技）で授業を行います。

- 【a】 教養教育関係の授業科目の履修により，幅広い知識・教養，情報処理及び外国語の基本を修得する。
- 【b】 共通基礎教育科目の履修により，数学，物理学，化学等の自然科学の基礎的知識を修得する。
- 【c】 専門基礎・共通科目の履修により，専門科目に関連する基礎的知識を修得する。
- 【d】 情報処理科目の履修により，情報処理に関する専門知識，関連する学際的知識や最先端の研究成果等を学び，専門的知識及び技術を修得する。
- 【e】 ネットワーク科目の履修により，ネットワークに関する専門知識，関連する学際的知識や最先端の研究成果等を学び，専門的知識及び技術を修得する。
- 【f】 組込みシステム科目の履修により，組込みシステムに関する専門知識，関連する学際的知識や最先端の研究成果等を学び，専門的知識及び技術を修得する。
- 【g】 実験科目では，情報処理・ネットワーク・組込みシステム科目で学んだ知識の応用力を学び，さらにグループによる学修により，協働力，リーダーシップを育む。
- 【h】 キャリア科目の履修により，自己分析をもとに，将来に対する目標設定を自ら行う力を育む。
- 【i】 卒業認定・卒業研究科目により，これまでに修得した知識を再確認し，卒業研究を通じて，学んできた専門的知識・技術を活かし，課題設定，問題解決能力を修得するとともに，創造性を育む。
- 【j】 教職科目の履修により，数学，情報の教員となるための幅広い知識・技術を修得する。